

【IDWR 感染症週報】

2025 年 11～15 週までをお届けさせていただきます。

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/jp/idwr/2025/idwr2025-11.pdf>

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/jp/idwr/2025/idwr2025-12.pdf>

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/jp/idwr/2025/idwr2025-13.pdf>

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/jp/idwr/2025/idwr2025-14.pdf>

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/jp/idwr/2025/idwr2025-15.pdf>

<発生動向総覧と状況>

- ・第 15 週の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。過去 5 年間の同時期の平均と比較してかなり多い
- ・伝染性紅斑の定点当たり報告数は 12 週までに 3 週連続で増加したが 14 週に入り減少した。ただし過去 5 年間の同時期の平均と比較してかなり多い。
- ・注目すべき感染症では「麻しん」についてピックアップされている。2025 年第 1～13 週に診断された「麻しん」の報告数（2025 年 4 月 2 日現在）は 58 例であり、2020～2024 年における各年の報告数を上回った。直近で最も報告数の多かった 2019 年（第 1～13 週で 378 例）以降は、新型コロナウイルス感染症の流行もあり低調であったが、本年は第 8 週から増加傾向にあった。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は 12 週までに 2 週連続で減少したが過去 5 年間の同時期の平均と比較してかなり多い

<性感染症・薬剤耐性菌感染症>

4 つの性感染症（性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症）は性感染症定点医療機関（全国約 1,000 カ所）から毎月報告される。2025 年 3 月分の報告を行った性感染症定点医療機関数は 969（産婦人科・産科・婦人科：485、泌尿器科：405、皮膚科：71、性病科：8）であった。詳細は 15 週報告の 3 月コメント（4 月 11 日分）を参照されたい。

薬剤耐性菌感染症〔メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）感染症、薬剤耐性緑膿菌（MDRP）感染症〕は、2 次医療圏毎に 1 カ所以上定められた、病床数 300 以上の基幹定点医

療機関（全国約 500 カ所）から毎月報告される。2025 年 3 月分の報告を行った基幹定点医療機関数は 479 であった。詳細は 15 週の報告を参照されたい。

<定点把握の対象となる 5 類感染症>

・インフルエンザ

定点当たり報告数は横ばいであった。

都道府県別の上位 3 位は秋田県（4.72）、沖縄県（2.51）、富山県（2.43）である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は 92 例と前週と比較して減少した。都道府県別では 37 都道府県から報告があり、年齢群別では 0 歳（3 例）、1～9 歳（23 例）、10 代（6 例）、20 代（2 例）、30 代（1 例）、40 代（2 例）、50 代（4 例）、60 代（8 例）、70 代（12 例）、80 歳以上（31 例）であった。

・新型コロナウイルス

定点当たり報告数は第 6 週以降減少が続いている。

都道府県別の上位 3 位は新潟県（4.96）、徳島県（3.97）、山形県（3.79）である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は 1,005 例と前週と比較して減少した。都道府県別では 47 都道府県から報告があり、年齢群別では 0 歳（17 例）、1～9 歳（17 例）、10 代（11 例）、20 代（4 例）、30 代（15 例）、40 代（21 例）、50 代（42 例）、60 代（76 例）、70 代（210 例）、80 歳以上（592 例）であった。

・小児科定点報告疾患（主なもの）

RS ウイルス感染症

定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位 3 位は鹿児島県（3.06）、宮崎県（2.27）、愛媛県（2.14）である。

咽頭結膜熱

定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位 3 位は鹿児島県（1.03）、宮崎県（0.60）、岩手県（0.57）である。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位 3 位は茨城県（4.71）、愛媛県（4.57）、栃木県（4.41）である。

感染性胃腸炎